

5月富貴クラブレース 帆走指示書

1.適用規則

セリング競技規則(RRS)(附則D チームレース競技規則は除く)
JSAF 外洋レース規則、JSAF 運用規定、レース実施要項及び本帆走指示書とする。

2.艇長会議、出艇申告

艇長会議 平成24年5月20日(日) AM8時30分から 富貴クラブハウスにて
出艇申告 艇長会議時申請する

3.競技者への通知

レース本部からの通知及び帆走指示書の変更等は、レーススタート予定時刻11分前までに、本部艇から通知する。
(L旗掲揚、白板掲示等)

4.レースの日程

平成24年5月20日(日) 予告信号 AM9時55分

5.レース海面

レースは、衣浦防潮堤より、南 沖合

6.コース

コースは艇長会議で通告する。またコースの変更及び短縮はしない。

7.マーク

マークは、オレンジ色パイを使用する。

8.コミッティポート:本部艇

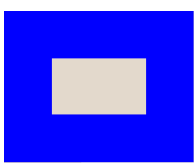
コルセアV ハートファースト 36.7 丸の色白 岡田守功 090-4094-5861
本部艇には、オレンジ色旗を、掲揚する。

9.スタート

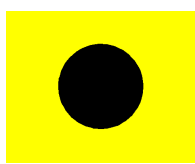
A)スタートは、RRS26 を用い、クラブ旗は、富貴クラブ旗を使用する。

| 信号 | 旗と音響信号 | スタート信号までの時間 |
|------|---------------------------|-------------|
| 予告 | JSAFクラブ旗 | 5分 |
| 準備 | P旗、I旗、Z旗、I旗とZ旗、または黒旗;音響1声 | 4分 |
| 1分前 | 準備信号の降下;1声 | 1分 |
| スタート | JSAFクラブ旗の降下;音響1声 | 0分 |

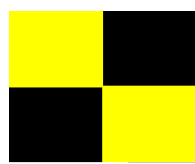
B)スタートラインは、ポートの端となるオレンジ色のマークと、スタートの端となる本部艇のオレンジ色旗掲揚ポートの間とする。
レース艇はスタート信号後、10分以内にスタートしなければならない。同時刻までにスタートしなかった艇は、DNSとする。



P旗 4分前



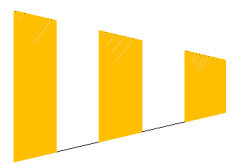
I旗 1分間ルール



L旗 声の届く所へ来い



Y旗 ライフジャケット着用



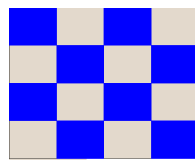
回答旗 スタート延期



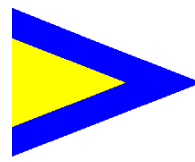
S旗 コース短縮



X旗 リコールあり



N旗 中止



第一代表旗 ゼリコ

10.個別のリコール

リコール艇があった場合には、本部艇にX旗を揚げ音響信号1声が、発せられる。掲揚の時間は、すべてのリコール艇がスタートライン、又はその延長線のプラスタート・サイト`に完全に入るまで、また規則30.1が適用された場合には、それに従うまでとする。但し、スタート信号後の10分以内とする。

11.ゼネラルコール

スタート信号時に、スタートラインのコースサイドにいる艇、もしくは規則 30 の適用を受ける艇を特定できない場合、又はスタートの手順に誤りがあった場合、本部艇にゼネラルコール信号の第一代表旗を掲揚し、音響信号 2 声を発する。

第一代表旗は次の予告信号 1 分前に降下する。

12.スタートの延期

スタートの延期は、本部艇に AP 旗を掲揚し、音響信号 2 声を発して通知する。スタート予告信号は AP 旗降下1分後とする。

13.コースの変更

ありません。

14.コースの短縮

ありません。

15.レースの中止

レースの中止は、本部艇に N 旗を掲揚し、音響信号 3 声を発して通告する。

16.タイムリミット

タイムリミットは、スタート後 4 時間(240 分)とする。タイムリミット以前にフィニッシュ出来なかった艇は DNF とする。

17.抗議

A)抗議は、受付ない。

18.失格に代わる罰則

A)RRS 第 2 章の規則違反については、失格に代わる罰則として、(720° 回転)の罰則が適用される。

19.レース旗

A)レース参加艇は富貴クラブ旗を予告信号からレース終了まで、もしくは棄権するまでバックステイに掲揚しなければならない。

B)レースを棄権した艇は、直ちにレース旗をおろし、速やかに本部艇に報告しなければならない。

20.ライフジャケット

A)海況に応じてライフジャケットを着用すること。

B)本部艇に Y 旗が掲揚された場合、乗組員全員はライフジャケットを着用しなければならない。

21.レース委員会(レース本部)の所在

平成24年 5 月 20 日(日) AM8 時 30 分から PM4 時まで本部艇

レース委員長:河崎金徳 090-3150-9656

参考 JSAF 外洋レース規則 第 7 条 エンジンの使用

落水者救助、遭難艇(船舶)救助、衝突回避、その他緊急事態に対処するためにエンジンを使用することが出来る。

但し、エンジンを使用した場合には、その状況(使用した目的、時間、場所等)についてフィニッシュ後レース委員会に速やかに報告しなければならない。漁船、その他一般動力船との出会いでは、衝突回避が最優先です。微風時、視界不良時にはエンジン使用が衝突回避に有効な場合があります。無用なトラブルを避け、遠慮なく活用し、報告ください。